

鶴田均二氏 勲四等に叙せられる

佐藤 良昭 (燃料部)
Yoshiaki SATO

元地質調査所燃料部長 鶴田均二氏 (旧姓金原) は 昭和56年春の叙勲にさいして 勲四等旭日小綬章を授与され 5月14日に勲章伝達式が行われました。心から御祝いを申し上げます。

氏は 昭和10年東京帝国大学理学部地質学科を卒業大学院に進まれましたが 昭和11年現役兵として入営軍務につかれました。同12年 予備役編入となり 地質調査所に入所 昭和40年に退官されるまで 主として石油地質学関係の研究と指導を通じ 関連の官・学・業界の発展と人材の養成に尽くされました。

すなわち 昭和20年までの間は 国内の油田調査は勿論 中国 南東ボルネオ (現カリマンタン) ジャワなど 東南アジア各地で 石油鉱床の調査に従事されました。昭和21年 商工省地下資源調査所に復帰 昭和23年には燃料部石油課長となり 戦後の燃料資源調査事業再建の一環として 水溶性天然ガスに着目 地化学探査をとり入れ 独得の探査理論と技術を確立し 現在の天然ガス調査の基礎ができました。この調査の発展段階において 昭和26年には 「東京ガス田」が発見され 石油課は 毎日工業技術賞を受けました。また同年には 東北日本 日本海側油田地帯についての研究集大成であ



鶴田 均二氏

る「新潟油田の地質と石油鉱床生成・集積の場」の研究業績により 氏は東京大学から 理学博士の学位を受けておられます。

昭和25年には企画課長に任ぜられ 国内における地質調査事業の拡充・発展に努められました。昭和29年燃料部長に昇任 石炭調査事業や新潟市地盤沈下の地質学的研究にも深く関わられると共に 石油・天然ガス・地下資源開発など 関係審議会や委員会の委員を歴任 その深い学識と豊富な経験を生かして さまざまな分野での御活躍は 目覚ましいものであります。

昭和40年に地質調査所を退かれてからは 帝国石油株式会社の顧問 取締役 常務取締役及びザイール石油株式会社の取締役と要職を歴任 昭和46年から 株式会社帝石コンサルタントの副社長に就任 国内ならびに海外における 石油・天然ガス資源の開発に大いに貢献されました。昭和52年3月には副社長を退任され 今日に及んでいます。

ここに今後の御健闘と御健康を心からお祈り申し上げます次第です。



勲記